

次世代交通ビジョンおきなわ（仮称）

【令和7年度 第1回 有識者会議】

～検討の進め方（案）～

1. ビジョン検討プロセスの考え方
2. ビジョン検討プロセス
3. 参画プロセス
4. 技術検討プロセス
5. ビジョン検討プロセスの全体像
6. 県民等の意見の反映イメージ
7. 若者の参画の促進

令和7年10月23日
沖縄県交通政策課

1. ビジョン検討プロセスの考え方

① ステップを区切った段階的なビジョン検討

- 県民等と共につくるビジョンとして、ステップごとに論点を明確化し、効果的なコミュニケーションを実施する
- 段階を踏みながら、県民等とともにビジョンを構築する

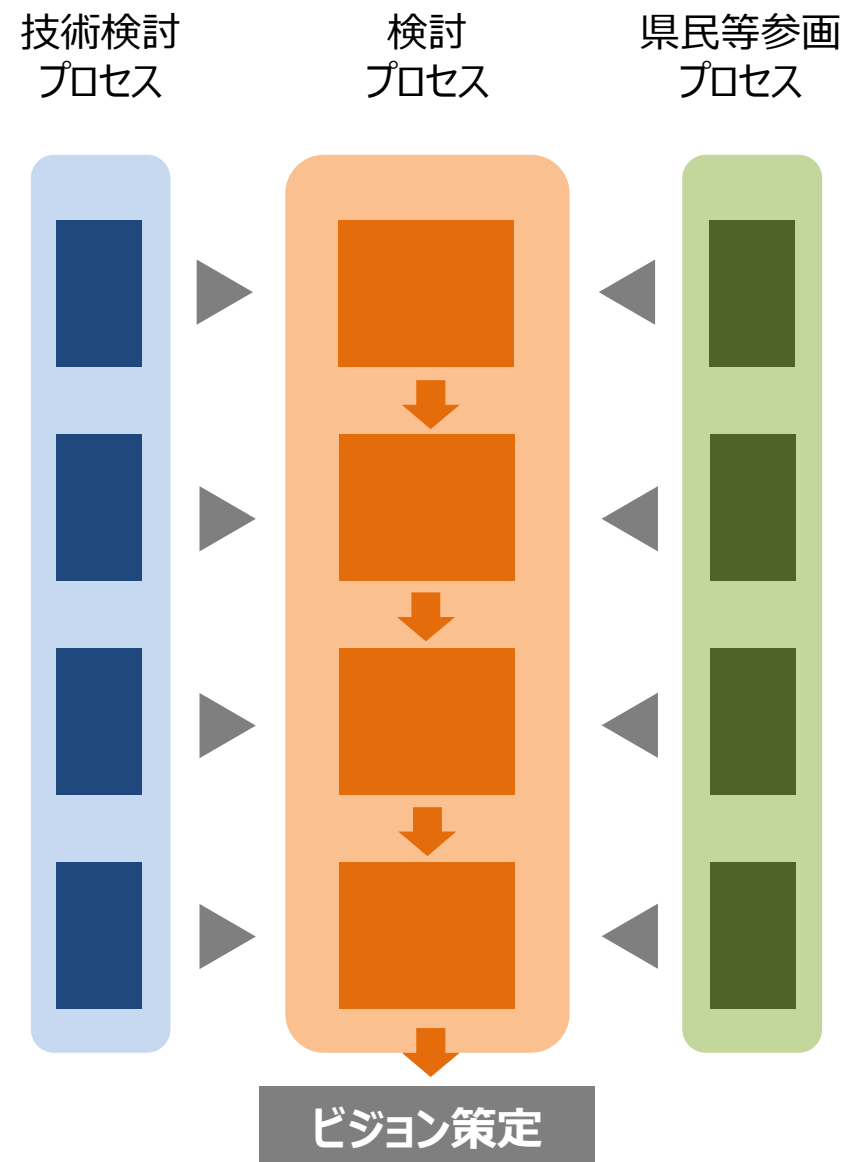
② 各段階での県民等の参画

- 多くの計画でみられるように、最終段階にパブリックコメントを求めるのではなく、各ステップにおいて県民等との対話を実施する
- 現状や課題の把握は県全域を対象に実施し、その後、地域ごとに交通のあり方の検討をより深く検討していく

③ 有識者による助言の活用

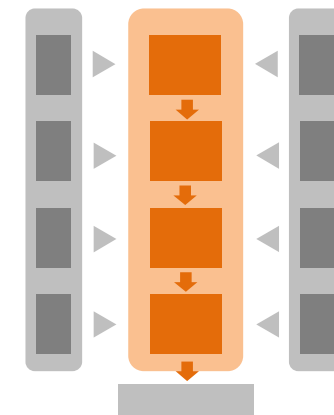
- ビジョン検討の技術的な観点や、県民等の参画プロセスの妥当性を確保するため、有識者による検討会を設置する
- 各段階で有識者の助言を得ながら、検討を着実に進めていく

ビジョン検討プロセスの基本構造



2. ビジョン検討プロセス

- 最初のステップでは、検討の進め方を明確にしたうえで、現状と課題を踏まえた「沖縄が目指す未来像」を設定する。
- その後、未来像を各地域の実情に即して具体化し、交通のあり方を検討するとともに、実現に向けた具体的な取組方向性を検討する。



検討のステップ

検討の内容

ステップ0 検討の進め方

- ・次世代交通ビジョンおきなわ（仮称）の策定に向け、段階的なプロセスを検討する。
- ・各段階において検討すべき内容、県民等の参画として実施する取組、技術的観点から行う検討事項等を整理、検討する。

ステップ1 現状と課題を踏まえた 沖縄が目指す未来像

- ・沖縄県における交通の現状と考慮すべき課題を検討する。
- ・加えて、将来的に生じる可能性がある課題についても検討する。
- ・現状および将来の課題を踏まえ、沖縄が目指すべき交通の未来の姿を検討する。

ステップ2 地域ごとの交通のあり方

- ・沖縄県内には様々な特色をもつ地域が存在することを踏まえ、沖縄が目指す未来像の実現に向けて、各地域の状況に応じた交通のあり方を検討する。

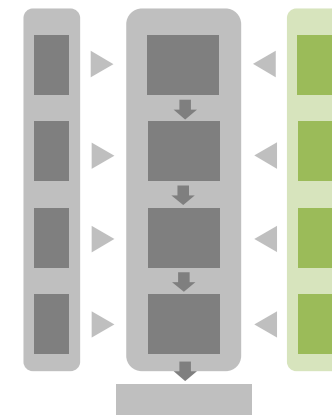
ステップ3 地域ごとの取組の方向性

- ・地域ごとの交通のあり方を実現するため、具体的に実施すべき取組をパッケージとして検討する。

3. 参画プロセス

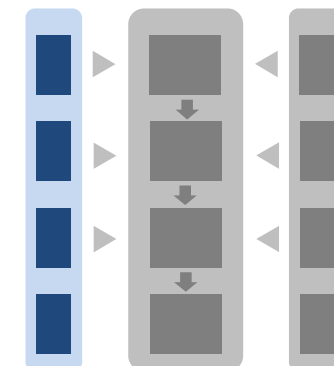
- ステップ0、1の参画は同時に実施し、検討開始を広くPRする観点から、ホームページや人が集まる場所でのオープンハウスを中心に展開する。
- ステップ2、3は、中南部、北部、島嶼部など各地の事情を考慮する観点から、ワークショップを中心とした県民等の参画を実施する。

ステップ	県民等から特に得たい情報	情報提供内容	ツール
ステップ0 検討の進め方	進め方や体制について気になること	- 検討体制 - プロセス	- オープンハウス - ホームページ - アンケート
ステップ1 現状と課題を踏まえた 沖縄が目指す未来像	- 交通政策のこれまでにに対する評価 - 現状および将来の交通からみた課題、沖縄における社会課題との関係性 - 交通を考えるうえで大切にすべきこと - 今後の検討の進め方	- 沖縄県の交通のこれまでと現状 - 将来生じる可能性がある事象（将来シナリオ）	
ステップ2 地域ごとの交通のあり方	- 目指すべき将来の交通の姿を考える上で踏まえるべき各地域の状況 - 将来の交通のあり方につながるアイデア - 将来の交通のあり方を検討する際に重視すべき視点	- ステップ0・1の検討結果 - 都市交通マスタープラン - 将来の交通のあり方の複数案 - 評価項目の複数案	- ワークショップ - オープンハウス - アンケート - ホームページ
	- 検討結果のたたき台に対して、さらに考慮が必要な視点 - 付帯条件の提案	将来の交通のあり方の検討結果（たたき台）	
ステップ3 地域ごとの取組の方向性	- 取組のアイデアや方向性の提案 - 今後の進め方への要望	- ステップ2の検討結果 - 取組の事例集	- ワークショップ - オープンハウス - アンケート - ホームページ



4. 技術検討プロセス

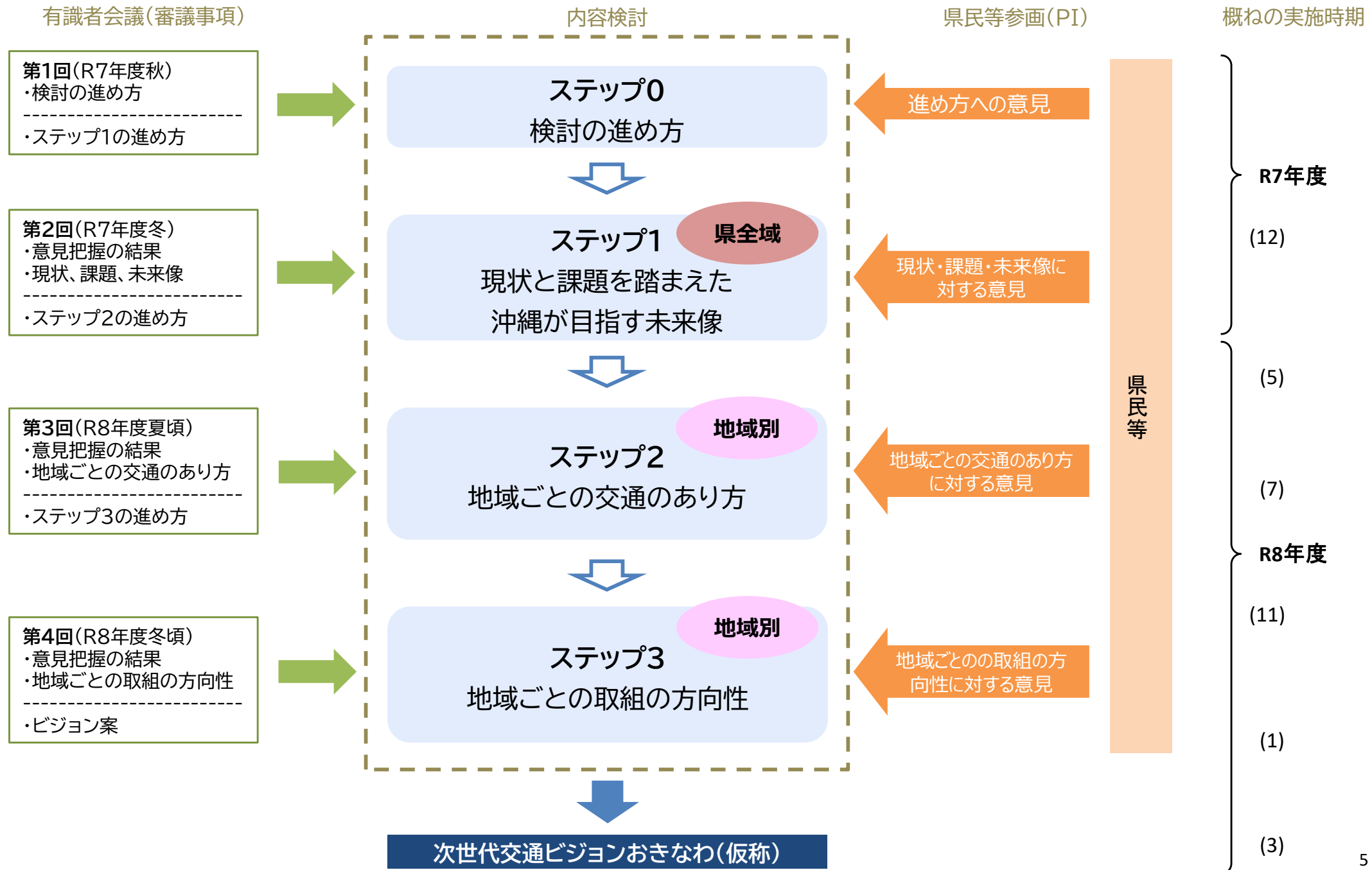
- 有識者会議では、主に①検討プロセスの妥当性の確認、②県民等の意見を踏まえたビジョン検討の妥当性の確認を行う。
- そのため、検討会は各ステップの節目において、前後のステップをまたがる形で議題を設定し、検討を進める。



開催回	対応する ステップ	主な議題	
		プロセス関連	ビジョン検討関連
第1回 有識者会議	ステップ0・1	・検討全体の進め方 ・ステップ0・1の進め方	—
第2回 有識者会議	ステップ1・2	・ステップ2の進め方	・ステップ0・1意見把握結果 ・現状・課題・未来像
第3回 有識者会議	ステップ2・3	・ステップ3の進め方	・ステップ2の意見把握結果 ・地域ごとの交通のあり方
第4回 有識者会議	ステップ3	—	・ステップ3の意見把握結果 ・地域ごとの取組の方向性 ・ビジョン案

※有識者会議の開催回数は現時点での想定であり、今後、変動する場合があります

5. ビジョン検討プロセスの全体像



6. 県民等の意見の反映イメージ

- 県民等から寄せらる様々な意見を考慮し、市民ニーズに応えつつ、多様な価値観を活かしたビジョンをつくる。
- 県民等の意見が、ビジョンを構成する要素のどこに該当するのかを整理し、各要素をまとめる際の検討材料とする。

次世代交通ビジョンおきなわの構成 イメージ

沖縄県の交通の現状

- ・渋滞の発生
- ・交通空白地の発生
など

Bさん：
他にもこんな
状況がある、
ということを考
慮して！

将来の変化が交通に及ぼす影響

- ・基地返還による都市整備により交通が発生
- ・インバウンド観光客の急増による混雑の発生
など

Aさん：
ガソリン価格が
高騰していて将
来が心配！

沖縄県が目指す未来像

県民等が 大切にしたいこと

- ✓ ゆとりある暮らし
など

交通が果たす役割

- ✓ 誰もが活動したい場所に、
快適に移動できる環境をつ
くる
など

制約条件

- ✓ 人口減少による
人手不足
など

Cさん：
次世代のことを
考えると、地球
環境は無視で
きないよね！

Eさん：
ゆとりも大切だけど、仕
事を選ぶことも同じく
大事だと思うよ！

Dさん：
移動できることは
いいけど、安全じゃ
ないと困ります

次世代の交通のあり方

地域ごとに目指す交通ネットワーク等

Fさん：
バスにはもっと
活躍してもらわ
ないとダメだね

具体的取組

未来像の実現に向けた地域ごとの具体的な取組

Gさん：
バスが走りやす
い空間を確保
するのはどう？

学校との連携

- 琉球大学で実施される学部生を対象としたエンジニアリングデザイン演習と連携し、沖縄県の将来の交通のあり方についての学習を通じて、学部生の意見を把握し、ビジョンづくりに反映する試みを推進中。
- ステップ2からは、地域ごとの交通のあり方を検討することから、各地域の学校等との連携を引き続き検討する。

